

## 予算決算委員会会議録

### 1. 開催年月日

令和7年12月23日 開会 10時37分 閉会 10時58分

### 2. 開催場所

全員協議会室

### 3. 出席委員名

松本周平	多賀紀代子	山田幾久枝	柳本益裕
木尾容子	沖久教人	妹尾文彦	多賀信祥
西村慎次郎	荒木謙二	惣台己吉	坊野公治
上野安是	西田久志	大滝文則	宮地俊則
佐藤豊			

### 4. 欠席委員名

なし

### 5. その他の会議出席者

(1) 議長 山下憲雄

(2) 説明員

副市長	猪原慎太郎	総合政策部長	安東慎吾
総務部長	藤原雅彦	健康福祉部長	片山恭一
総合政策部参与	岩本展到	総務部参与	片井啓介
企画振興課長	片山直紀	財政課長	西本晴雄
子育て支援課長	大塚建		

(3) 事務局職員

事務局長	岡崎祐一	事務局次長	藤井隆史
------	------	-------	------

### 6. 傍聴者

(1) 一般 0名

(2) 報道 1名

### 7. 発言の概要

**委員長（惣台己吉君）** ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

初めに、副市長の御挨拶をお願いします。

**副市長（猪原慎太郎君）** 改めまして、皆さんおはようございます。

本会議に続きまして委員会の開催ということで、大変お疲れさまでございます。

この委員会に付託されております案件は、令和7年度井原市一般会計補正予算（第6号）の1件でございます。どうか慎重に御審議をお願いします。

〈議長挨拶〉

〈議案第110号 令和7年度井原市一般会計補正予算（第6号）〉

〈歳入〉

〈なし〉

〈歳出第20款 民生費〉

〈なし〉

〈歳出第40款 商工費〉

**委員（妹尾文彦君）** この臨時交付金について少しお聞きしたいんですけども、この交付金は、何か市のほうでこういうことに使ってくださいという制限というのはどれぐらいあったんでしょう、全くなかったんでしょうか。

**企画振興課長（片山直紀君）** 交付金の目的という捉え方でお尋ねかと思えます。

国のほうでエネルギー、食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者、事業者を引き続き支援するために重点支援交付金というものが拡充をされたということです。

その中で、特に自治体の実情に合わせて支援ができるように、また食料品の物価高騰に対する特別加算というものも含めて推奨メニューのほうを示されたという状況であります。

**委員（妹尾文彦君）** ということは、特に制限なくという認識でよろしいでしょうか。

**企画振興課長（片山直紀君）** 際限といいますか、どこまでもできるというわけではないですが、推奨メニューというものは示されてはおります。幅広に捉えられるようにはなっております。

**委員（妹尾文彦君）** ありがとうございます。

そして、この交付金なんですけれども、今回全部使うように予算組まれてるんですけど、これっていうのはいつまでに使い切らなきゃいけないとかという期限とかというのはあったでしょうか。

**企画振興課長（片山直紀君）** 目的が物価高騰でお困りの市民の皆さんを支援するという  
ことなので、一定の期限はどの自治体も切って活用してくださいというものは国のほうから  
示されております。

**委員（妹尾文彦君）** その期限というのはいつぐらいだったんでしょう。

**企画振興課長（片山直紀君）** すいません、ちょっとお時間をいただけますでしょうか。

事業の終期というものを特別定められてはいないんですけれども、先ほど申しましたとお  
り、やっぱり早急な事業の実施っていうものは求められている中で、国のほうが示してきた  
のは予算化を年内にしてほしいというようなことは通知がありました。

**委員（妹尾文彦君）** ありがとうございます。

予算化は年内にして、幾らかは使って、何ぼかもうちょっと残して考えようというような  
話はなかったですか。この事業は年内はこれぐらいにしといて、後でもうちょっと残りを使  
うみたいな話は庁内では検討の段階ではなかったんでしょうか。

**企画振興課長（片山直紀君）** 事業の交付金の趣旨から早急な支援が必要だということ  
で、極力早い対応ができるものということで、公平に早い対応ができるものという考え方で  
検討を進めてまいりました。

本会議での御質問でもありましたが、いろんな事業、候補にも挙げたんですけれども、  
個別の事業というのはどうしても受益者が限定的になってしまうとか、行き渡らない支援も  
ありますので、全ての方に行き渡る支援ということを第一に考えて、この方向で取りまとめ  
をいたしました。

**委員（妹尾文彦君）** ありがとうございます。

以上です。

**委員（大滝文則君）** この給付金は物価高騰対策ということで臨時交付金が出とるわけ  
ですけど、裁量幅広く使えると思うんですけども、例えば、今後は経費をかけなくてもでき  
る、井原市もDX推進室ができておりますので、そういう、市民の方へ一括バンと入れるよ  
うなシステム構築もできないことはないと思うんですけども、そういうことには使えないの  
でしょうか。

**企画振興課長（片山直紀君）** 地域でそういった地域通貨とかというような事業もありま  
しょうし、交付、支給というようなことをデジタルでという仕組みも今後研究していく必要  
はあるとは思いますが、現段階ではこれまで他市町の状況を見たりしてみたんですけれど  
も、やはりプラットフォームの構築、メンテナンス費用とかというものも高くつきますし、  
今回支給するに当たってもマイナンバーカードを活用した現金給付という手法も考えました  
が、マイナンバーカードにつきましては保有率が8割強ということで全て対応することがで

きないということもありまして、商品券という形に今回は落ち着いたんですけども、委員さんおっしゃるような仕組みの構築というものは研究していく必要があるかと思っております。

**委員（大滝文則君）** もうそれはいいんですけども、この交付金について、そういうことにも使えるのか使えないのかということだけお願いできますか。

**企画振興課長（片山直紀君）** この交付金の推奨事業メニューの中に、システム構築という言葉は見当たりません。

**委員（大滝文則君）** いろんな方法があると思いますけども、今後こういう交付金もあるかと思うので、できるだけ経費のかからないことを知恵を絞ってやっていただきたいと。

それから、全員に配ることは決して平等ではないと思います。先ほど言いましたように、我々も多額の報酬をもらっていますし、職員の皆様方も生活に困窮しとるという方はいらっしやらないという中で、やっぱり全員に配るということはあまり、反対ではございませんけど、僕もしませんけども、短絡的な手法だと、今後もう少ししっかりと研究していただきたいと思います。終わります。

**委員（山田幾久枝君）** 先ほど、せっきやく国の制度としてマイナンバーカードを普及して、今井原で80%で、マイナンバーカードを使つての支給には踏み切れないというふうな御返答だったと思うんですけども、こういった機会を使つて、それをさらに普及する機会にしたり、あとは市としては何%普及したらそれを使つて、それ以外の人、いつまでたっても100%というのはすごく難しいと思うんです。せっきやくあるのにひもづけした口座などもいろいろされてるのに、そのされたことが活用されないで経費にたくさんの税金が使われるよりは、とにかくマイナンバー制度を使つていくというのが、目標値としてどこまで達成したらそちらに踏み切れるとか、そういったことはお考えにはなかつたですか。

**委員長（惣台己吉君）** 山田委員、ちょっと質問の趣旨が、今のは違うと思うんですが。

**委員（山田幾久枝君）** そうですか、先ほどの内容で。

でしたら、その辺もまたお願いしたいと思います。

**副市長（猪原慎太郎君）** 先ほど山田委員さん言われたことに関連する話になりますけれども、先ほど企画振興課長のほうから、マイナンバーカード普及率の問題もあつて100%にならないからという説明もありましたけれど、実はほかの考え方もありまして、要は給金受取口座を登録しておられるのでそれを使わない手はもちろんないと思いますし、そうすると事務費も相当圧縮できるということはあるんですけども、一番の問題点は、現金を支給した場合、井原市の経済圏は残念ながら福山ということで、市外にお金が流れていくということが一番のネックとして私どもありました。今回は基本的に、要は物価高騰対策というこ

とで、市民生活に貢献することももちろんですが、地域経済の下支えという目的もありますのでそういった選択をさせていただきました。

もちろんマイナンバーカードを活用しない手はありません。そういうことはありますけれども、地域通貨というものを本市に導入していない時点におきまして、これからシステム構築をして給付まで持っていくためには相当な期間がかかるということで、もう今回はそういった判断をさせていただいたということでもあります。

**委員（山田幾久枝君）**      ありがとうございます。

**副委員長（坊野公治君）**      事業費の内訳で、事務委託料が2, 275万円ということで、これは外部委託ということで、印刷その他含めてどちらかの印刷業者さんに委託するのかなということだと思うんですけども、下の負担金及び交付金で、商工会議所の負担金というのがあるんですけど、この4億7, 900万円のうち商工会議所への負担金というのはこの中から幾らぐらいになるんでしょうか。

**総務部参与（片井啓介君）**      これは全額商工会議所へお支払いをします。

この中には商品券の額面分、それから換金手数料、それから参加店の募集をするための郵券料、あとチラシ、ポスターの印刷代、それからそれに関わられる職員の人件費、こういったものが含まれていて、全額を商工会議所にお支払いをします。

実際の換金等によっては手数料などが減少する可能性もありますので、精算をさせていただくという形になっております。

**副委員長（坊野公治君）**      分かりました。ありがとうございます。

その中で、実績を基にして商工会議所へ頼むという形なんですけれども、商工会議所、大丈夫なんでしょうかという聞き方が正しいかどうか分かりませんけれども、事務の関係で、例えば本当に3月1日に間に合うのかどうか、その辺はしっかりと詰められてるんでしょうか。

**総務部参与（片井啓介君）**      本会議でも御質問あったと思います。

商工会議所にも事前に御相談をしております。今まで3回やってきて、前回もこの形でやっていただいて、今回こういう形で今話を進めているんですけど、いかがでしょうかという問いかけはしております。

先ほど申し上げた人件費の中にも、やはり職員だけでは対応できないということで、人材派遣を活用された部分もございますので、そういった体制も整えながら商工会議所のほうが受けていただけるというお話をいただいております。

**副委員長（坊野公治君）**      いろいろと、お話は聞く限りの中での話なので、市としてはそういった期日に遅れが出ないとか、そういったことはしっかりと詰めていただきたいと思

いまして、私はこれで終わります。

〈なし〉

〈一般会計補正予算全般についての質疑〉

〈なし〉

〈討論〉

〈異議なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（惣台己吉君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長に御一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（惣台己吉君） 閉会に当たり、執行部から何かございましたらお願いします。

副市長（猪原慎太郎君） 終わりに当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、慎重に御審議をいただきまして大変ありがとうございました。井原商工会議所さんとしっかり連携を深めながら、説明会で示しましたスケジュールどおりに皆さんのお手元に配付ができるようしっかり務めていきたいと思っております。大変ありがとうございました。

〈議長挨拶〉

委員長（惣台己吉君） 以上で予算決算委員会を閉会いたします。皆さん、御苦労さまでした。